

豊かで 住みよい 町づくり



Vol.
59

議会だより

2015. 11. 1 発行

上勝

- 2P 定例会
- 3P 26年度決算
- 4P 主な質疑
- 5P 一般質問
6名が町政について質問
- 11P 視察研修報告
議会の動き
- 12P まちのようす

平成27年度 9月定例会

一般会計補正 **3億6,162万1千円**

総額 **33億9,521万円**

9月定例会（9月9日～9月24日）までの会期で

- 平成27年度一般会計補正予算
- 上勝町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の制定（他5件）
- 26年度会計決算
質疑討論の結果、全て可決・認定した

9月補正予算

会計名	補正額	総額
国民健康保険(事業勘定)	5,423万円	3億5,278万1千円
東地区簡易水道	1,227万3千円	4,733万9千円

主な補正内容

- 災害復旧費（台風11号被害10件・15号3件） **4,500万円**
- とくしま豊かな森づくり事業（流川山林購入費） **3,103万円**
- 藤川住宅改修工事 **2,600万円**
- 耕地災害復旧費（台風11号被害4件・15号5件） **1,769万7千円**
- かみかつデジタル観光マップ **1,000万円**
- 上勝町美しい集落再生プラン支援補助金 **796万5千円**

討論

平成26年度一般会計歳入歳出決算認定について

原案反対 明本議員

（株）上勝バイオに対する2億6,000万円の赤字の補填は疑問。又、公有財産を貸付けることは法律違反。

原案賛成 渡部議員

議会の承認により賛成の積み上がった結果としての決算書であり、議会の承認した結果の決算書ができたということで認定。

原案賛成 松下議員

報告書の内容等いろいろ精査の結果、基金残高、地方債にしても過疎債が増えているが議会として認め、すでに執行済みで妥当、よって賛成。

起立採決 6対1で原案可決

平成26年度決算

歳入総額 **41億7,305万円** 前年度比 **3億5,891万円増**

歳出総額 **37億2,063万円** 前年度比 **3億1,966万円増**

町債(借金) **27億1,624万円** 前年度比 **2億9,084万円増**

基金(貯金) **43億5,977万円** 前年度比 **1億8,702万円増**

歳入歳出決算額

	歳入	歳出	差引
一般会計	32億3,720万8千円	29億3,568万9千円	3億151万9千円
特別会計			
奨学資金	144万円	144万円	0円
国民健康保険(事業勘定)	3億1,521万3千円	2億4,457万2千円	7,064万1千円
介護保険	3億6,171万2千円	3億5,665万4千円	505万8千円
国民健康保険(診療施設勘定)	1億2,533万7千円	9,106万8千円	3,426万9千円
国民健康保険(福原診療施設勘定)	2,015万5千円	2,015万5千円	0円
東地区簡易水道事業	4,184万9千円	357万6千円	3,827万3千円
西地区簡易水道事業	1,329万3千円	1,329万3千円	0円
いっきゅう地区簡易水道事業	1,431万3千円	1,431万3千円	0円
後期高齢者医療	3,989万7千円	3,907万1千円	82万6千円
高鉾財産区	220万5千円	37万7千円	182万8千円
福原財産区	42万8千円	42万8千円	0円

(※歳入歳出決算額は決算書に基づくものです。)



議員 明本 恵一

大型事業で福祉がかかる

明本

発議 第3号
安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書
発議者 明本議員
賛成議員 鹿島議員
渡部議員
武市議員

要旨

安倍内閣は武力攻撃事態法や自衛隊法、周辺事態法等10本を一括改正する平和安全法整備法案並びに国際平和支援法の2法案を第89通常国会に上程、衆議院に次ぐ参議院でも強行採決を目指し審議中。自衛隊の後方支援と言えども軍事攻撃の対象となりテロ発生の危険性が高まる事は明らかである。これらの関連法案は憲法に違反するとの意見表明があり、そもそも許される法案か慎重審議を求めるものである。

原案反対 松下議員

安全保障関連法案は必要日本を取巻く諸問題、領土・領海等々、周辺4ヶ国は軍備を増強し日本固有の主権を侵し、その国々は国連の決定すら聞こうとせず拒否権を持ってこれに当る。今自由に議論出来るのも民主主義ゆえんである。国家を守る立場から原案に反対である。

原案賛成 渡部議員

安倍首相は国民の意見を無視、武器を使うような事は絶対あつてはならない。日本対周辺国のあつそいにならないよう、外交で世界平和を。慎重審議を求める。

意見 藤田議員

よく勉強してから議論してはどうか。後日検討してもよいのではないかと。

原案賛成 武市議員

自衛隊の平和活動は認める。周辺国は軍備を備え懸念はあるが、国民世論は慎重審議を求めている。

討論の結果、4対3で可決

【提出先】

衆議院議長 防衛大臣
参議院議長 外務大臣
内閣総理大臣 法務大臣

請願

大北地区に建設計画のある風力発電の風車建設の中止を求める請願書

紹介議員 渡部議員

要旨

㈱ユーラスエナジーホールディングスによる風力発電計画において、環境影響調査の報告があつたが、手法・結果は納得のできるものではない。

バイオ再生の見込み

問 2億6,000万円の投入と、この8月は自動画像選別機2,500万円を購入。退職エンジニア2名を呼んだ。具体的効果は。

答 花本町長

画像選別機は据え付けて1ヶ月だ。下期に効果を期待している。黒カビ菌では5ヶ月間に不良木は2万1,000本に半減した。

問 3年間の指定管理契約したが黒字化見込は、結果責任は。

雄中面集落は環境を壊し健康を脅かす施設の中止を願う。日本の原風景を守り集落の再生を目指し、Uターンする若者を求めて努力している私たちの願いを聞いて頂きたい。

問 松下議員

17基中55基が大北に予定中止を求めているのは55基であつて全体ではないのか。位置をずらすといった話合いのテーブルに着けなかつたのが残念だ。地域が了解し、その一部が反対では地元に対立が出来ないか。それが心配である。

答 渡部議員

全体の中止ではない。ユーラスの調査は最初は協力していたが、不誠実な対応が度々あつたのでテーブルに着くのは無理だ。地域が了解するには地元の意見を十分きいて了解を得ることではないか。地域が地元を無視して了承するなど考えられない。

賛成議員 明本議員

藤田議員

鹿島議員

渡部議員

武市議員

採決の結果、5対2で採択

質疑

監査報告

問 明本議員

3セクの赤字補填に過疎債から2億6,000万円を融資するのは疑問である。

答 鹿島監査委員

県に会社の3ヶ年改善計画を出して認められたので問題は無いと思つている。

平成26年度決算認定

問 松下議員

地方債が4億2,000万円ほど増え、支払いが1,400万円を超えている。

答 横山総務課長

年度により事業が多くなれば、地方債も多くなる。町の発展が重要であり、柔軟に対応している。

問 渡部議員

横山課長が最低借金が払えるぐらいの基金は積み立てたいと言つたが、どの程度のものか。

答 横山総務課長

今、地方債残高が27億円ちよつとである。最低それを確保してそれ以上は目標的なものは設定していない。

福原財産区

問 武市議員

委員数が高鮮は5名、福原は6名だ。同じにしないのか。

答 花本町長

福原は基金も減つているので打診したことがあるが結論に至っていない。

一般会計補正予算

問 松下議員

農林水産業費の土地購入先は。

答 吉積産業課長

流川地区水源地上流の山林74haを予定している。地権者は共有も含み27名。

問 明本議員

税番号システム整備で本人確認書類類地印字システムの導入とは何か。また国の事業を全額一般財源にするのはおかしくないか。

答 峯下住民課長

通知カードとか個人番号カードができて、結婚したりで名字が変わつたりすると、カードの裏に書き込むのが手書きではできないので機械を使う。

答 横山総務課長

今のところ国から何もないので一応町単独で整備しておく。

問 渡部議員

旧診療所をサテライトオフィスなどに活用するところがあるが、当てるのか。また、サテライトオフィス仕様があるのか。

答 花本町長

これは、35万円のソシオデザインのプロ案事業で、壁画を描く予定である。

問 鹿島議員

国税連携、審査パソコン入れ替え業務とは。

答 傍示税務課長

国税連携システムには2つのシステムがあり、そのひとつに今後マイナンバーが入るので他と分離しなければいけないので新たにパソコンを導入する。

問 武市議員

デジタル観光マップ制作は町の企画か、民間の提案事業か。

答 多田企画環境課長

国の100%交付金事業で委託を考えている。契約方法は未定だ。

問 勝浦町に業務委託はしていない。

答 横山総務課長

工事入札は勝浦町役場で6月9日に勝浦町長が決裁した。

問 上勝負負担1億3,000万円の共同事業だ。自治法により議会の議決が必要だ。

答 横山総務課長

平成17年の事務委託が継続している。

問 サービスマスターの入札契約は何時か。

答 横山総務課長

勝浦町で仕様書を作成中だ。工事はNTTと7月27日契約した。

問 高齢者いじめの「抱き合わせ販売」あらためよ。

答 横山総務課長

ネットとTVを分離すればネット利用の若者や企業の負担が高くなり若

者定住政策に反する。

問 幾ら高くなるか。

答 横山総務課長

1P電話11600円現在無料 インターネット113,845円(現在11,23円) ケーブルテレビ11,500円(現在1,23円)となる。

問 1P電話は無料だった。金をかけ設備更新して、値上がりするの。業者の言いなりではないか。

答 横山総務課長

サービスマスターは決まつていない。NTTが試算したものだ。

注(ポン方式とは、光の伝送周波を大きくし、線を途中で枝分けする方式。1対1で出来上がっているのをやり替える)

彩り山、子育て支援についても質問した。



画像選別機

問 古い設備の更新をする。責任は町民に判断してもらう。

答 花本町長

町と株式会社がどんぶり勘定だ、親方日の丸だ。ケジメをつけて会長を辞任せよ。

問 町と株式会社

バイオは経済効果が少なくない。会長は続ける。

答 花本町長

もみじ川温泉等のように3セクをやめ独立採算にすべきだ。

議会にはからずムダな方式きめた

問 ケーブルテレビ・インターネット設備取替え

ポン方式ありきだ。業者案を鵜呑みだ。どこで誰が決めたか。

答 横山総務課長

6月12日に勝浦町で決めた。



岩本文昭 議員

岩本

日比ヶ谷に森林組合を残せ

企画環境課長

まちひとしらべ
創生総合戦略

問 ゼロウェイストセン
ター整備事業進捗状況は

答 花本町長

ゼロウェイストブラン
ドを活用した循環型まち
づくり事業である。平成
27年5月25日から来年3
月31日の契約期間で基本
設計業務として地職住推
進機構に委託している施
設概要が今年度中にはま
とめられる予定である。
ゼロウェイストセンタ
ー整備の基本概要策定業務
先行型の事業で実施して
おりこれも11月明け位に
は策定報告を受ける予定
である。

問 日比ヶ谷の町有地全
体で面積はいくらか。森
林組合、(株)もくさん、ゼ
ロウェイストに貸してい
る面積と年間借地料はい
くらか。

答 多田企画環境課長

全体では31,107㎡
である。森林組合3,8
50㎡、85万850円、事務
所側244.74㎡、60万円、
(株)もくさん7,860㎡、
賃貸料は減免している。
ゼロウェイストアカデミ
ーはひだまり666㎡、ゴミ
ステーション1,430㎡
である。

問 森林組合の移転が計
画されているがどの程度
話が進んでいるのか、森
林組合の考えは。

答 多田企画環境課長

森林組合との賃貸契約
が28年3月となっている。
町内での移転を協議し適
地を模索している。周辺
環境を踏まえ町有地の福
川残土処理場を検討して
いる。

問 森林組合全体では了
承されているのか。

答 多田企画環境課長

組合長、副組合長、理
事会にも説明は出来てい
る。事業費負担割合につ
いては今後協議する。

答 花本町長

契約期限は来年3月で
あるが、5月に文書で立
ち退きの検討を依頼して
いる。組合の総会にも担
当職員を派遣している。
理事会にも出席して説明
しており、組合長にも現
地を確認していただき相
談して進めている。

問 組合員の利便性から
も現在の場所が最適と思
われるが、将来を見越し
て三者、三事業所が残れ
る工夫は出来ないか。

答 花本町長

現実の土場は粉塵等、
風が舞うと周辺に飛んで
いる。駐車場も少なく事
故がいつ起こってもおか
しくない状況である。ま

た組合長も問題がないで
あろうといわれている。
ゴミステーションの安心
できる駐車場、雨が降つ
てもゴミが分別出来るス
ペースが必要であり、土
場の移転を進めていると
ころである。

答 吉積産業課長

上勝町の林業振興上、
町内であれば大きな問題
はないと考えている。組
合の事業、又町内のほと
んどが森林であり、上勝
町には共販所がなくては
ならない重要な施設と認
識している。

旧JA福原事業所跡
について

問 地職住推進機構の店
舗開設の件はどうなっ
ているのか、町には詳しい
説明がなされているのか。

答 吉積産業課長

地職住推進機構が店舗
開設に向け進めていたが、
仕入業者との交渉が難航
金融機関の融資も受けら

株上勝バイオ
現在の経理状況は

武市

4月～7月の損益
マイナス2,500万

産業課長

問 株上勝バイオ、昨年
資金投入してゼロからの
出発。現在の経営状況は。

答 吉積産業課長

例年のことであるが夏
場の椎茸不需用期の上
半期は極めて厳しく、4
月～7月の損益は2500
万円ほどマイナスである。

問 今年1月～7月まで
の、椎茸生産数量・廃棄
数量・販売単価は。

答 吉積産業課長

生産量は228t、廃棄数
量23t、販売単価は、1
kg当り 1月843円、2月
839円、3月744円、4月
642円、5月657円、6月
665円、7月682円とな
っている。

問 安い時期にかなりの
生産量と廃棄椎茸。直営
ハウスへ榎木供給は時期
的な状況を加味されてい
たのか。

答 吉積産業課長

椎茸の需用期不需用期
に関わらず供給している。
その方が収益的に有利で
あると判断しているとの
ことである。

問 安い時期、赤字が分
かっているが同じ量を
生産して行くというのは
考えものである。会長で
ある町長はどのように考
えているのか。

答 花本町長

販売単価が安いとき、
栽培を少なくし、榎木製
造で秋冬使用榎木をしつ
かり作るというのは理想
であるが、現工場内の人
員では難しい状況である。

問 一人頑張っておられ
るような影山社長、高齢
でもあり交代して人心一
新の改善策は。



需要に合わせたしいたけ生産を望む

このことはいろいろな
ところで経営支援要請も
し、会社訪問もしていた
だいたりしているが至っ
ていないのが現状である。

特定家電製品、
運搬料金無料化
できないか

問 特定家電製品は、リ
サイクル料金・プラス運搬
料金がある。運搬料金が
いることで持ち帰られた
りした実例は。

答 多田企画環境課長

数字はつかめていない
が例はある。

れず最終的には不調にな
った。再度開店に向け商
工会と地職住推進機構が
前向きに検討中である。

消防施設について

問 総合戦略の中で消防
詰所を5ヶ年で、1ヶ所
新設とあるがこの分団
詰所か。

答 横山総務課長

総務で計画しているの
は、旧JA福原支所ガソ
リンスタンド跡に福原分
団の詰所を計画検討中
である。



瀬津・野尻線改良工事

問 住民が持ち込みをし
ている上勝町のごみ処理
収入のあるゴミもある。
特定家電の運搬料金、無
料化もしくは補助はでき
ないか。

答 多田企画環境課長

家電リサイクル法で運
搬料金も住民負担が基本
となっている。上勝町で
は1台当たり2,000
円としている

問 住民が持ち込みをし
ている上勝町のごみ処理
収入のあるゴミもある。
特定家電の運搬料金、無
料化もしくは補助はでき
ないか。

答 花本町長

一律にそれを町が負担
は難しい。

マンネリ化している
名総代会、改善策は

問 熱心に文書化して要
望しても、その場しのぎ
の回答で具体的な結果が
伴ってこないと不満の声
がある。要望事項の事前
通告、傍聴も可能にする
など住民参加の有意義な
方向策を考えては。

答 吉積産業課長

県の実施要領で個体数
調整は猟銃による一斉駆
除のみで、罾は対象とし
ないと定めている。

問 猟銃による鳥獣個体
数調整捕獲緊急事業その
効果は。

答 吉積産業課長

26年度実績は出役人数
298人で32頭捕獲、208万6、
000円の事業費である。

個体数調整は一斉駆除
でなければならぬとい
う県の考え方に疑問を感
じながら、他彩山構想の
用地買収などについての
質問をした。



武市 功 議員



松下和照 議員

松下

町長

問 6月議会の町長所信表明から5,000万円の赤字がある。増資後どのような改善策を講じたのか。

答 花本町長

2人の外部社員を招聘し黒カビ菌の発生率を現地点で半減、これにより2万本のほだ木を外に販売、680万円の売上増となつて効果に繋がっている。

問 画像選別機導入により、どの程度の人員削減に繋がるのか。

答 吉積産業課長

5〜6人の人員削減を見込む。すでに退職者が各部門より6名あり、補



画像選別機

充も出来ておらず、人員不足の状況の中、導入の効果も期待している。

問 招聘社員によるホダの品質改善の進み具合は。

答 吉積産業課長

ホダのカビについてはほぼ解決、冬場の小型化及びしいたけの傘の部分の黒ずみ問題等2点に絞られる。今後も発害防止

を図っていくと伺っている。

問 拡大基調は市場に振り回されるのではないのか。生産・品質・市場の信頼、人員の多能工化、秋・冬にシフトする生産体制等柔軟な対応は。

答 森副町長

（株）上勝バイオの生産販売は、ほぼ横ばいに推移

している。効率的な経営を図るには一定規模の利益が必要。適正規模の維持が必要と考えており、品質向上と相対取引の拡充を図るなど安定的な経営基盤の確立が重要と考えている。

旧JA福原事業所の跡地利用の現状から

問 商店の入居営業はどのような経緯で開店出来ないのか。

答 吉積産業課長

本年4月開店の予定でJA東とくしまの事業継続をしてくれる業者として一般社団法人の地職住推進機構が取組み、経営計画と融資が成立しなかったとの事。商工会も仲介の努力をいただいて、なお開店に至っていない状況である。

問 上勝町も補修負担している。新しく公募しては。

答 吉積産業課長
事業費については土地購入並びに事業所改築修繕工事等858万円の投資をしている。公募については今のところ考えていない。商工会と地職住推進機構に於いて早期開店に向けて努力の結果をみたい。

町営学習塾について

問 73%の生徒さんが受講でスタート、その後の状況は。学習塾と学校との連携はうまく出来ているのか。又アララギ学習計画と塾の効果検証は。

答 立川教育長

現在も73%の生徒の参加で進行している。中学校に出向き実施計画、要項等問題点も話し合っている。9月末で一応前期の検証を実施したい。ふるさと教育も年間を通して実施中で生徒自身自ら考えて学ぶこと、これからの社会で活躍できる人を育てて行きたい。



渡部厚子 議員

貯木場は山村の象徴

渡部

おがくずが飛んで被害が出る

町長

問 ゴミステーション拡張のために貯木場を追い出すのか。

答 花本町長

上勝町から土場をなくすわけではない。

問 貯木場は観光的にも面白いし、子供達が木材を積んであるのを見るだ

けでいい教育になる。上勝は山と共に生きてきた。皆の見えないところへ貯木場を移動させてはいけない。

答 花本町長

森林組合の土場はおがくず等で周辺に被害が出るので何度も場所を変えてきた。

ゴミステーションや、もくさんへ行く人によつぱり影響がある。福川の残土処理場であればという結論に達しつつある。

（株）上勝バイオ、HI方式の実験結果は

自社で培養栽培を行う計画だ

問 （株）上勝バイオのHI方式実験にかかった費用は。

答 吉積産業課長
総費は1,670万円、実験は終わって9月以降有機JASの菌床制度を開始する。

問 HI方式で菌床を作るのに、HI本社では中国人を投入して人件費を削減している。人手不足のバイオはHI方式の方に人件費をまわせるのか。従来の椎茸もほかの会社並みに作れないのに新しいものに手を出せるのか。

削減している。人手不足のバイオはHI方式の方に人件費をまわせるのか。従来の椎茸もほかの会社並みに作れないのに新しいものに手を出せるのか。

町内情報発信はどこが

「あったかマップ」は災害情報も

問 町内イベント情報を一括する観光交流協議会が出来たか。

答 吉積産業課長

今年4月に発足した。澤田氏と月ヶ谷温泉が事務局を担っている。各団体から送ってきた情報を事務局がフェイスブック等にアップする。しかし、ボランティアで運用しており、課題が山積している。

問 「あったかマップ」という、情報をスマートフォンに流す企画も出ていて、バラバラに見えるが

答 多田企画環境課長

「あったかマップ」はこれから手がけてゆくもので、どこが管理するまでは決まっていない。防災機能もオプション的になっている。

答 花本町長

災害情報はアラームで勝手に流れてくるが、避難場所等は出てこない。マップならクリックしたら近くの避難所が分かる。避難指示、勧告など町がパソコンで打ち込む情報が全部マップに流れ込むので十分に防災機能を果たせる。

その他、くみあいマーケットその後について、温泉の生ごみ処理機、中学生のための公営塾についても質問しました。



貯木場の雄姿（日比ヶ谷）

鹿島



鹿島 國男 議員

総務課長

正木ダムの ただし書き放流とは

ダムの流入量まで徐々に 放流量を増加させる事

問 ただし書き放流とは。

答 横山総務課長

徳島県正木ダム事務所からの回答です。通常行っている洪水調整を続けると、ダムの洪水調整容量を使い切ってしまうことが予想される時に、ダムの放流量を流入量まで徐々に増加させる操作のこと。

問 昨年ただし書き放流をして、地元住民や消防団が大変だったが、今年も同じことが起こりそうになったのは。

答 横山総務課長 正木ダムは、昭和52年に完成し38年間において計44回の洪水調整を行い、そのうち6回については、ただし書き操作が必要と予測されたため、事前の周知をしたが、実施したのは昨年の台風11号が初めてであった。今年の台風11号でも予備放流を水位以下に貯水位を下げて体制を整えたが、16日夜から17日にかけて、平均で、時間50ミリを超えて5時間続いたため急激に

水位が上昇した。その後も、降雨が予想され、ただし書き操作が必要と判断した。結果的には、その後降雨量が減少したので、実施しなかった。

答 横山総務課長

できる限り回避する操作をしているが、やむを得ない場合に実施するの

問 ダムの放流のたびにびくびくするのは、消防団員もしんどい。安心してきるようには。

答 横山総務課長

地元の意見を伺いながら、説明会をしたい。(正木ダム事務所答弁)

問 ダムの操作について、住民に説明会を開いてほしいが。

で、大規模な洪水が予測されるときは早い段階で情報提供したい。

答 峯下住民課長

番号法の施行に伴い10月5日以降に地方公共団体情報システム機構から全住民に送付される予定カードのメリットは、本人確認の際の公的な身分証明や行政手続に必要な添付書類の軽減など。

問 広域農道の部分的に使用できる場所は。

答 中原建設課長

1の1工区、起点側町道傍示生実線分岐より梅の木線を町道と重用し堂床、町道荒木線までの約15キロメートル、1の2工区、町道鶯線、接点から正木、南岡西内、谷橋までの13キロメートル、西内谷橋上から仁ノ瀬橋までの0.7キロメートル。1の3工区、仁ノ瀬橋から町道元山槻地線接点までの06キロメートル。

マイナンバー 制度とは

問 マイナンバー制度とは。

答 横山総務課長

全人口の20%分ぐらいある。飲料水は144本、非常食は落合の倉庫に1,350食、コミセンに450食、支所に250食ある。毛布はコミセンに200枚、支所に146枚。

他に鳥獣害、ジビエ料理についても質問した。

日本一の子育て村

島根県邑南町

平成27年8月17日

「シングルマザーに大人気」、転入者への手厚い施策を女性週刊誌が取り上げた。今やマスコミ露出度は上勝町に勝るとも劣らない。6年前にもこの島根県の山間地に視察に来た。若い女性の定住率が高い！からだ。男性の定住も多いが、やはり女性の方が話題になる。若い女性からシングルマザーへ、弱い者が住みやすい町づくりをしているので、自然とシングルマザーが集まってくる。

上勝町だつて頑張っているが、邑南町にあつて上勝町にないもの。食の学校、不妊治療費助成、病児保育、子育て支援ポイント付与制度、3才以上の保育所のお米代全額補助、無料職業紹介所、多世代同居・近居住宅建設費一部助成、U・Iターン者向けに低コスト賃貸住宅を建設する事業者に補助、ケーブルテレビ等々。

たのはIターン者の定住前後に町の専属職員がピタリ寄り添って相談に乗ることだ。Iターン者は大切にされていると感じるに違いない。上勝町もまだまだやれること、やるべきことはたくさんある。(渡部)



邑南町の役場にて

株吉田ふるさと村

島根県吉田町

平成27年8月18日

観光事業部石原主任に案内、説明をうける。現在は6町村が合併して人口、4万3千人となっている。以前の吉田町は日本古来の製鉄で栄えた町であるが大手の近代製鉄所が全国に出来、大正10年頃に製鉄業は廃業を止む無くされたこの事である。現吉田町は面積113・98km²、山林103・03km²、世帯数656戸、人口1844人、高齢化比率41%の町である。

急速に人口減少、高齢化が進み地域産業の振興、雇用の場創出を目的に地域密着型、第三セクターとして株吉田ふるさと村が昭和60年に設立された。会社概要は資本金6,000万円、出資構成は、雲南市1,500万円、法人・団体2,815万円、個人1,685万円、年商3億9千4百万円、(26年度)従業員数66名(パート含む)である。業務内容は特産品の開発・製造・販売、市民バスの運転業務、簡易水道施設管理、水道施設工事業、温泉施設の経営、野菜・原木椎茸の栽培、旅行の企画・販売、飲食店の経営、道の駅の管理と多岐に渡っている。商品開発も力をいれておりスパイスプロジェクトも立ち上げ新商品も数多く出している。従業員もよく頑張っている様子がかがえる。25年には800万円の黒字を計上したが26年度は1,000万円の赤字を出している。販売はスーパー、生協、デパートへの卸しが9割、直販が1割とのこと、現在は東京をターゲットにした販路拡大を進めている。

社長は創立者のメンバーの息子さんが務めているが、第二セクターの経営の難しさを改めて痛感する。約4億円の売り上げがあるのに赤字決算の要因は経営基盤の弱さにあると思われる。経営は経営者の責任であり資質が問われる。上勝町も知恵を出す時が来ている。(石本)



事務所、工場、出荷場

議会の動き

- 7月
- 3日 議会総務常任委員会学校等訪問
- 7日 議会広報調査特別委員会 (議会だより編集)
- 10日 議会全員協議会 臨時議会
- 13日 議会広報調査特別委員会 (議会だより編集)
- 21日 議会広報調査特別委員会 (議会だより編集)
- 24日 議会広報調査特別委員会 (議会だより編集)
- 31日 徳島県町村議会議長会定例会 (徳島市)

- 8月
- 17~18日 総務常任委員会・産業建設常任委員会合同視察研修 (島根県邑南町、島根県雲南市)

- 9月
- 2日 議会運営委員会
- 9日 第5回定例議会 第1日(開会)
- 14日 議会全員協議会
- 15日 議会全員協議会
- 17日 第5回定例議会 第2日
- 18日 第5回定例議会 第3日(閉会)
- 28日~29日 四国四県町村長・議長大会 (香川県琴平町)

まちのようす



福原地区老人会 お誕生会



棚田の赤ソバ（櫻原）



草刈風景（福川）



敬老式典



八重地の棚田

編集後記

天候不順が毎年のこととなってしまう。しかも激しさを増している。地球温暖化はそれでも止められない。人々はエネルギーを大量に使うことに慣れてしまつて、ちよつと始末することさえ苦痛に思う。行き着く先はどこだろう。

少子化となったが、未だ生まれぬ子供達は未来の過酷さを予感して、この世に降りるのをためらっているのではなからうか。

さて、私達広報委員の任期も12月で終わります。長い間、ご愛読ありがとうございました。

次期の委員達はもっと良い広報を作つて下さると思いますので期待していただきます。

（渡部）

